

増穂だより

M A S U O D A Y O R I

高等学校卒業式典号



芝浦工業大学柏中学高等学校

http://www.ka.shibaura-it.ac.jp

〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地

TEL 04-7174-3100(代) FAX 04-7176-1741

編集 総務部

発行日 令和5年3月2日

印刷所 株式会社横浜総合写真

誠実に、ひたむきに

— 41 期卒業 —

2022年度芝浦工業大学柏高等学校卒業式告辞

— 校長 中根 正義 —

一隅を照らす人となれ

増尾城址公園の杜にも新しい命が芽吹き始めた佳き日、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。芝浦工業大学柏高等学校での3年間は、お子さまの成長に少しでもお役に立てたなら、私たち教職員の喜びもひとしおです。

さて、皆さんの高校生活は新型コロナウイルスの感染拡大と時を同じくするものでした。3年前を振り返ると、入学式やその後の各種行事の中止という苦渋の決断をせざるを得ませんでした。小椋佳さんが作詞・作曲した本校の校歌には「柏の青春 毎日が学ぶ喜び 柏の青春 毎日が生きる喜び」とありますが、私たちは皆さんの学びを止めまいと、オンライン同時配信による授業やホームルームの実施など、教職員一丸で試行錯誤を繰り返す日々でした。

今年度からは学校行事なども感染対策を施した上で行うことにしました。この間、一度も取り組めなかった宿泊研修を行うべく、昨年4月には大阪研修旅行を実施し、ユニバーサルスタジオジャパンやグループ別体験学習などにも出掛けました。生徒の皆さんから「とても楽しかった」という感想を聞くことができた時は、少しホッとしたことが思い起こされます。

今年度の卒業生は308名です。この1年で3分の1にあたる約100人が校長室に来てくれました。指定校推薦の面談をしたり、進路などの相談に乗ったりしました。皆さん全員と個別にお話しができなかったことは心残りですが、話をする中で勉強にクラブ活動に加え、コロナ禍であまり開催できなかった学校行事にも全力で取り組んでいたことがよく分かりました。

本校が注力している探究学習の成果として高校生国際シンポジウムや各種コンテストでの数々の受賞、全国大会まであと一步のところまでいく活躍を見せた部活動もあり、実際の

試合を観戦した時は胸が熱くなりました。困難な中でもできることをコツコツと続け、希望を見失わない姿勢は、クラスメートや下級生たちにも大きな刺激になったのではないのでしょうか。

本校の建学の理念は「創造性の開発と個性の発揮」です。これまで培ってきた力をこれからの人生で生かしていただければと思います、皆さんに次の言葉を贈ろうと思います。

「一燈照隅 万燈照国」

これは、天台宗の開祖である最澄が1200年以上前に説いた言葉です。一人ひとりが今ある場所で希望の光を照らし、その数が増えて多くの燈となれば、国全体、世界全体を明るく照らすことができるという意味になりましょう。

この前半部分の一燈照隅、つまり「一隅を照らす」という言葉を好んで使ったのがコロナ禍直前の2019年12月にアフガニスタンで凶弾に倒れた国際NGO「ベシャワール会」現地代表の中村哲医師です。中村医師は度重なる戦乱で荒廃したアフガニスタンとパキスタンで人道・復興支援に尽力してきました。中村医師は「誰もそこへ行かぬから、我々がゆく。誰もしないから、我々がする」という強い信念を持って、現地の人々と活動を続けてきました。中村医師亡き後も、その遺志は受け継がれています。

まだまだ終息とはいえないコロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻、アフガニスタンやシリアなどでの地域紛争、気候変動問題など、世界は今、大きな課題を抱えており、それは私たちの生活にも暗い影を落としています。激動の時代に自分に何ができるのか、自分はどう生きればいいのかを考え、新たな一步を踏み出してほしいと思います。

ここに集った卒業生全員がそれぞれに、無限に広がる新しい道を歩まれ、一隅を照らす人として社会で活躍することを期待し、告辞といたします。

目次

校長告辞 / 式次第	1 P
受賞の喜び / 巣立ちゆく者たちから	2 P
贈る言葉	3 P
贈る言葉 / 保護者から	4 P
贈る言葉 / 保護者から	5 P

一、開式の辞	一、校歌斉唱	一、記念品贈呈	一、送辞	一、学校法人代表祝辞	一、校長告辞	一、賞状賞品授与	一、卒業証書授与	一、開式の辞
一、閉式の辞	一、答辞	一、卒業生保護者代表謝辞						



受賞の喜び

日々の積み重ねを大切に

6組

この度は素晴らしい賞を頂くことができて、非常に嬉しく思います。日々、鍛えてくださった先生方や、支えてくれた家族、くだらない相談にも耳を傾けてくれた友人たちに感謝の気持ちを伝えたいです。

僕は部活仲間や友人たちと中高生活を楽しみながらも、やるべき事に関しては自分に嘘をつかないように意識してきました。部活から帰ると疲れて何もできない日もありましたが、次の日には気持ちを切り替えて頑張るようにしていました。こうした日々の積み重ねが最終的には自分の自信に繋がり、今の自分が挑戦する勇氣になっているような気がします。これからも小さな一歩を大切にしながら、夢に向かって突き進んでいきたいと思います。六年間、本当にありがとうございました。

環境への感謝と思い

6組

この度はこのような素晴らしい賞を頂き大変光栄に思うとともに、日常生活で私を支えてくれた家族、友達、先生方、その他多くの人々に感謝します。外的環境に恵まれたからこそ今の自分があるとは思いつつも、それは単なるこの世界の物理運動の一帰結、すなわち運でしかないと思うことがある。とはいえ、その無機質な運の中に自分の未熟さ等、主体性によって解決できるはずのものがあ、それは進行形の自分になぜか備わる思考機能に必要十分的に起因している。「社会や誰かのため」という環境へのはたらきかけでなく、その環境をどう知覚し何を起こし思考するかという「自分のため」に生きていきたい。6年間を芝柏で過ごせて幸せでした。本当にありがとうございました。

温かい場所

6組

この度は、高校生活の最後にこのような素晴らしい賞をいただくことができ大変嬉しく思います。中高合わせて六年間通った芝柏から卒業することに少し寂しさを覚えつつも、お世話になった先生方や友達、支えてくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。この六年間で私は芝柏の温かさを多く感じました。新型コロナウイルスの影響で行事を制限しなければならない状況の中、生徒に寄り添って少しでも楽しい学校生活を送れるように尽力してくださった先生方の温かさや、受験の不安に押し潰されそうな時に芝柏の友人との会話の中にある温かさに何度も救われました。これからも人との繋がりを大切にして、いつか芝柏のように誰かの心を温められる人になりたいと思います。

旅立ち

4組

私は4月の大学入学とともに一人暮らしを始めます。初めての一人暮らしには不安もありますが、その不安よりも、今後訪れる未来への楽しみの方が勝っています。これまで一つ一つのステップを踏んで、新たなステージに立つことができるのは、芝柏での経験のおかげです。これまでお世話になった先生方と友人たちにここで改めて感謝したいと思います。ありがとうございました。

マスクで入学した芝柏をマスクのままで卒業します。新たなクラスメイトとの出会いから始まり、多くの友人との繋がり、日々の学習習慣は芝柏で得られた財産です。今思うとただただ早い3年間でした。

最後にマスクを外して言いたいです。「みんなと過ごした日々は、本当に楽しかったです。ありがとうございました。新しい景色を見に行ってきます。」

常に心に太陽を持って。

7組

コロナによって行動を制限されてきた私たちにとって、学校行事などの「当たり前」を実現することがいかに難しいのか思い知らされたことが多かったと思います。このような状況の中でも、高校生活の思い出のために修学旅行や文化祭のプランを練り直して下さった先生方には感謝してもしきれません。また、思い描いていた高校生活とは違っていても、与えられた機会を最大限に楽しみ、盛り上げてくれた41期の皆さんにも感謝を伝えたいです。

「困難を予期するな。決して起こらないかも知れぬことに心を悩ますな。常に心に太陽を持って。」

ーベンジャミン・フランクリン

この先、新たな困難に直面することがあっても高校生活を通して得た「どんな状況でも最大限楽しむ力」を発揮し、41期の仲間たちが新たな社会を想像・創造していくことを願っています。



感謝

5組

振り返ると、僕はこの3年間、本当に友人に恵まれたなと思います。皆さんもきっとそう感じているのではないのでしょうか。

コロナ禍で色々な活動に制限がある中、楽しく3年間を過ごすことができたのは皆さんのおかげです。

また、このような状況でも「できることを」と、様々なことを企画してくださった先生方にも本当に感謝しています。特に球技祭では、クラス一丸となって取り組むことの大切さを学ぶことができました。

思えば高校1年生の時は、高校受験に失敗し、「芝柏行くの嫌だなあ」とか、「中入生怖いなあ」とか考えていましたが、芝柏に来てたくさんの友人や先生に出会えたことで、様々な経験ができました。

長いようで短かった3年間、人生で一度きりの高校生活をこの芝柏で過ごすことができ本当によかったです。本当にありがとうございました。

『幸せ者』

8組

私たち高校41期生はとても幸せ者です。

世間一般的にみると高校生活、コロナ禍によって、中学の時には当たり前だった事がそうではなくなり、可哀想だと思われるかもしれませんが、毎日友達と会えること、一生懸命部活をできること、そんな当たり前の幸せに気づくことができました。

また、制限はあったものの文化祭や球技大会、修学旅行も行うことができました。中でも、私たち生徒がコロナ禍でも最大限楽しめる修学旅行になるようにたくさん調整してくださった先生には感謝しきれません。

最後に、三宅先生、村松先生をはじめとする支えてくださった先生方、北村先生や松本照子先生など陰ながら支えてくださった先生方や先輩後輩そして、41期生の友達本当にありがとうございました。そして、6年間芝柏に通わせてくれて、素敵な人たちに会わせてくれたお父さんお母さんもありがとう。

私は幸せ者です。

巣立ちゆく者たちから

リゾネート・ウィズ・ユア・ライフ

1組

“響きを大切に”、この言葉は、高校入学以来ずっと僕のバストロンボーントロンボーンの練習を見てくれた田中翼先生がよくおっしゃっていたものだ。美しい音楽には必ず響きがついてくる。先生はそういつも僕にアドバイスをくれた。

しかしこれは人生にも同じことが言えるのではないかと思う。音楽と人生は、どちらも一度きりしか本番がない。だから、その一瞬の響きのために、奏者は沢山練習をし、奏でたい音や旋律を自分のモノにする。そして他の奏者と関わることで、人生という曲目に対して新しい表現や解釈が生まれる。そのようなことを繰り返して、人生はより響きと輝きを増していく。

なんだか大げさな表現だが、僕にはそう感じるのだ。出会いと別れ、そして旅立ち。色々な場面や感情を経験することで、僕たちはこれからも大人になり続けていくのだろう。

感謝

2組

いよいよ高校卒業を迎えました。私はこの学校に6年間通いましたが、中学の3年間と高校の3年間は時の流れも過ごし方も全く違いました。しかしどの年もそれぞれ違った良さがあって、芝柏で中高という大事な時間を過ごせて良かったと思います。

高校3年間で1番の思い出は何か？と聞かれた時、私を含め多くの生徒が大阪の修学旅行と答えると思います。オーストラリア、沖縄がコロナによって中止になり、生徒の中でも無理なんじゃないかと諦めモードに入ってる時も、先生方が沢山考えて計画して下さって叶った修学旅行は一生の思い出になりました。私はこの行事があったからこそ、受験生として勉強に上手く切り替え頑張れました。諦めずに頑張ってください先生方、本当にありがとうございました。

卒業後は皆別々の道に行くことになりませんが、芝柏41期と経験した楽しいことや成功したことを糧にどんな困難も乗り越えていきます。6年間ありがとうございました。また成長した姿で会いましょう！

率直な気持ち

3組

いつの間にか卒業の時期になっていた！入学時は成績がばつとしなかったけど、卒業前に英検2級、数検準1級に合格しました！成長した自分にブラボー！！みんなもブラボー！！芝柏には感謝しかありません！！

高校生活を振り返ります。高校生活は黙食、3密回避などで、密な青春を送ることができませんでした。「青春って、すごく密なので」甲子園で優勝した仙台育英の須江監督の言葉です。しかし、このコロナ禍でも行事や研修旅行ができないかと、あれこれ考えて最終的に実施してくれました。思い出を残す機会を作ってくださいありがとうございます。また、教室での友達との会話なども楽しい思い出です。

最後に先生、同級生、家族、先輩後輩、そして私を支えてくださった全ての皆様、本当にありがとうございました！この先、社会に出ても活躍できるように頑張ります！見守っていて下さい！

雲外蒼天

6組

中学・高校と人生の3分の1を過ごしてきた芝柏とも今日でお別れです。中学卒業式ではコロナ禍ということもあり、思うような卒業式を迎えることができなかったため、高校卒業式をこのような素晴らしい形で迎えられてとても嬉しく感じています。41期生にとって高校での3年間の生活はイレギュラーで満ち溢れていました。部活の禁止、合唱祭の中止、文化祭のオンライン開催、研修旅行の延期など様々な面で新型コロナウイルスに翻弄されました。しかし、そんな逆境の中でも私たち41期の生徒一人一人が日々逆境をどう乗り越えるかを考え続け、それを先生方が支え続けてくれたおかげでこの高校3年間を毎日が喜びに満ちただけでなく、真に創造性の開発と個性の発揮を各々が体現することができたと思います。

最後にこの六年間素晴らしい仲間・先生と芝柏で出会えたことを心から誇りに思います。



贈る言葉

教頭

ご卒業おめでとうございます。
新型コロナウイルスのために制約が多く、想像通りの高校生活を送れず、「青春」ではなく「冬の時代」と感じた人もいるでしょうが、「冬」はかならず「春」になります。その時に「青春」を謳歌してください。
最後に、皆さんに将棋の羽生善治さんの言葉を贈ります。羽生さんは、「勝負の上で大切なこと」としてありますが、「勝負の上」を「人生」と読み替えて理解するとよいでしょう。
恐れないこと。
客観的な視点を持つこと。
相手の立場を考えること。

学年主任 1組副担任

朝、目が覚めると行く場所があり、行けばそこにいつもの人達がいる。あたりまえの日常の中に幸福はあるのだと別れの時は教えてくれます。新たな場所で新たな幸福を見つけてください。
思う存分高校生活を送らせてあげられず、ごめんなさい。不遇の時を乗り越えてきた皆さんだからこそ、将来、人の痛みが分かり、社会を支えられる人になること、そしてこの三年間の分まで充実した人生になることを祈っています。私自身はこの三年間の無念さを胸に、また新たな生徒たちと向き合っていきたいと思っています。
誠実に、ひたむきに。色々ありがとうございます。お元気で。

1組担任

芝柏での高校生活は皆さんにとってどのようなものになったでしょうか。芝柏で高校生活を送った意味が見えてくるのは、時が経って自分自身を振り返ったときだと思います。今は、卒業の喜びと共に思い描いた形でまっすぐ輝かしい将来に向けて歩いていってください。この先の人生で苦しいとき、辛いときがあれば是非高校でのことを思い出してみましょう。きっと、自分の進むべき道のヒントが隠れているはずです。私もこの先、苦しいときがあったら、41期でのことを振り返ろうと思います。卒業おめでとう！

2組担任

ご卒業おめでとうございます。これからは自分で選択する機会が多くなり、自分のやる気次第でいくらでもチャンスを手に入れることができます。つまり将来は自分自身で切り開くことになります。周囲や時代のせいにはせず、自分の可能性を少しでも広げる努力をしてください。寿命は限られています。人生を豊かにするか貧しくするかは全て自分次第です。たとえ今が苦しくても、将来につながると考えれば乗り越えられるはず。色々なことにチャレンジして、豊かな人生を送ってください。41期生に幸あれ。

3組担任

小学校の時、こんな合唱曲に出会った記憶がある。
この大空に翼をひろげ飛んで行きたいよ
悲しみのない自由な空へ
翼はためかせ行きたい
出典：「翼をください」
作詞：山上路夫、作曲・編曲：村井邦彦
みなさんがこれから飛び出そうとする大空は、私の経験的につらいことや悲しいことに溢れ、自分が意図しない出来事だらけだと思います。その大空をただ漠然と願い与えられただけの翼で飛翔することは難しい。今後の人生経験から自ら翼を生やし、立派な羽根を蓄えてください。卒業後に紆余曲折したあなたの人生を伺えることを楽しみにしています。健闘を祈る。

4組担任

ご卒業おめでとうございます。芝柏で積み上げた知識と経験を活かして、これからもそれぞれの場所で大いに活躍してください。高校時代に経験できなかった海外留学は、大学生になっただけ経験してくださいね。色々な国を訪れ、色々な人と対話をして、グローバルな視野を身につけてください。何事もポジティブに考え、アクティブに行動し、クリエイティブに生きてください。芝柏41期生のみなさんの活躍によって、世界が平和になることを願っています。Bon Voyage!

5組担任

皆さんと過ごした時間はかけがえのないものとなりました。ありがとう。ともに学んだこの仲間との繋がりをずっと大切に。新たな出会いを大切に。最後に、ある有名な数学者の言葉をはなむけに。
「自分の関心に基づいて取り組む問題を選択することが重要だということです。
どんなに難解な問題も、やってみない限りは絶対に解けません。
自分にとって最も重要な問題に常に挑戦してください。」
あなたが人生をかけて取り組みたい問題を見つけ、挑戦し続けてください。この先の人生での活躍を心より願っております。

6組担任

舟木一夫は『高校三年生』で次のように歌い上げる。
赤い夕陽が 校舎をそめて
ニレの木陰に 弾む声
ああ 高校三年生
ぼくら 離れ離れに ならうとも
クラス仲間は いつまでも
作詞：丘灯至夫 作曲：遠藤実
『高校三年生』
校舎をそめる夕焼けも、賑やかな声の響く楡の並木も、令和の卒業を彩る風景とはなりえない。そして、「卒業」すらも、現実のものとして感じられないのかもしれない。それでも我々は「卒業」するのだろうか。

7組担任

41期のみなさん、高校3年間はどうな時間でしたか？一見短く見えるかもしれませんが、実は長く感じられるのではないのでしょうか？その内の2年間みなさんと共に過ごせて幸せでした。有難うございます。
さて、3年7組のみなさん、あなた方は私が担任として高校から送り出す初めての36人です。だからこそ、みなさんと迎えるこの卒業式は私にとって掛け替えのない1日です。そんな1日を私に与えてくれたみなさん一人ひとりに感謝しかありません。20年、30年後にも、思い出されるような、そんな1日にしてほしいと思います。

贈る言葉

8組担任

苦しい時には前を向こう。苦しい時こそ上り坂にいます。めげずに上り続けてください。うまくいっているときには気を引き締めよう。そこは下り坂なのかもしれません。地に足をしっかりとつけて、進むべき方向を再確認してください。
これからの人生、幾多の困難が待ち受けているかもしれません。苦しみを乗り越えてこそ喜びに包まれます。失敗を恐れずに。挑戦することを忘れずに。真摯に取り組んだ努力は無駄にはなりません。君たちを裏切ることはないでしょう。必ずや君たちの味方になってくれるはず。止まない雨はないのです。
君たちの未来に幸せという名の虹がかかりますように。

2・4組副担任

41期の皆さん卒業おめでとうございます。中入生は5年、高入生は3年間授業やHRなど関わってきました。自分としては、41期の生徒は非常にいい生徒が多くストレスなく血圧も上がらず過ごせたと思います。さて、これから君たちは高校を卒業して大人の仲間入りしていく訳ですが、大人になることは、自由な事が増える反面、責任も重くなることを覚えておいてください。君たちのこれからの人生が楽しく過ごせることを祈ります。

3・8組副担任

卒業おめでとうございます。受験勉強という振り分けゲームの中にと、ともすれば狭い視野になります。これからはラディカルにものを見て、沸沸と探求心につきうごかされ、大いに学んでいきましょう。

5組副担任

41期生のみなさん、卒業おめでとうございます。これまでみなさんを支えてくれた全ての方への感謝を忘れず、高校卒業という大きな区切りを迎えた慶びを噛みしめてください。これからも、出会いを大切に、たくさんのことを学び、変化を恐れることなく自分の世界を広げていってください。いつか素敵な大人に成長したみなさんの姿と再会できることを楽しみにしています。

6・7組副担任

人生ちょっと立ち止まってしまった時、何かにつまずいた時、そこから得られる学びは大きい。だから失敗など恐れず果敢に挑戦し、学び続けてほしいと思います。その経験はきっとあなたを豊かにしてくれます。コロナで制約だらけだった高校生活を取り返すぐらい、これからたくさんの経験を積んで、自分の世界を広げていってくださいね。
今後のご活躍を祈っています。

2年次副担任

卒業おめでとうございます。学年団や授業担当として、41期の皆さんと関わることが出来て幸せでした。素直で個性的な人が多い41期の皆さんが、これから出会う沢山の人の価値観に触れ、より一層個性が磨かれて、素敵な大人になることを心から願っています。
皆さんの今後の活躍を応援しています。

2年次副担任

日々の生活の中で、私たちの行動は消費行動と生産行動の二つに分類できると思います。例えば、前者は娯楽、後者は人の役に立つことが当てはまります。趣味は両方に当てはまる場合があります。前者は気分転換になりますが、後者の方が社会で評価されますか。あなたの行動はどちらに帰属しますか？

1年次副担任

卒業おめでとうございます。どの様な3年間でしたか？私は最近益々、学習の大切さを感じています。自分のための学習は多分、皆が思っている以上に面白いものです。探究学習はそんな入口を誘っています。私は常に美術と共に生きていく人生を選びました。皆さんもここからが真のスタートです。

保護者から

41期生学年副代表

コロナ禍から3年。まだまだ制約の残る中、先生方、学年幹事、本部や会員の皆様からのお力をいただき、PTA活動を行うことができました。本当にありがとうございました。
高校生活においては、1・2年時に開催できなかった保護者懇親会を昨年10月に初めて開催することができ、短い時間ではありましたが、保護者間、担任の先生とのコミュニケーションを図る貴重な時間となりました。
1日も早く、コロナ以前のPTA活動、学校行事が再開することを心よりお祈り申し上げます。

